明治四十一年十二月廿三日第三種郵便物認可　（日刊）（毎月曜日及大祭日の翌日休刊）　明治四十三年九月廿八日（水曜日）　第五百十九號（一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年
本紙定價 一錢▲一枚金二錢▲一ヶ月前金州五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

漢城より（二十六回）

旅浦逸人

▲齋田壽太郎氏の主宰せる東京建物會社は京城に支店を設置すべく、飯田常務取締役は前日既に來京、目下開店の準備中なるが其營業科目は土地建物の賣買、其の紹介、土地建物擔保貸金等なりといふ、吾等は之れを歡迎す。

▲京城の銀行にては、商業手形の根據保とする外、不動產擔保貸出を爲すは唯一農工銀行あるのみ、別に東洋拓殖會社の在るあれども、東拓は彼の如く亂保亦彼の如し、到底一般の要求に應ずる能はざるには非らざるか。

▲其他に起業會社といふがあり勸農會社といふがあり、興業會社、何々會社及金貸業者もあれども是等の營業振りは平昔の韓國式なり、イヤサ餘りに朝鮮式なり、或は向後大日本帝國朝鮮式に改めらるゝこともあらんが、去ればとて資本乏しき奈何、吾等は東京建物會社支店の設置を歡迎す。

▲曰く家作持は幸き目を見ずして資本を融通するを得べし、曰く地面持は安き利息の金を融通して家屋を建築するを得べし、曰く家賃は低減さるべし、曰く水道附の貸家も稀有かるに及ばざるべく、亞鉛板葺のバラック長屋も追々改造せらるべし、結構ならずや。

▲更に結構極まるは在留內地人の生活費を減じ、其の平調を保ち得べき一事なり、何となれば家賃低減せらるれば諸物價も隨て低減され、衣食住何れも程好き權衡を保つを得て、金の價値もわかることゝなるなり。

▲內地に於ては米の價が諸物價の標準となれるが如く、朝鮮の京城に於ては家賃が物價の標準と成りつゝあるなれば建物會社の開店は京城在留內地人の福音也、歡迎せざるべからず、唯願ふ處は同會社が朝鮮式に化せざることとなり敢て薮田氏の注意を促し置く。

▲漢城府にては太平町の通りに普請を施しつゝあり、着手以來既に何日の餘に亘る、而かも僅かに三四丁が間の工事を竣工するに至らず、見る處餘り念の入りたる工事とも見ねざるに如何なる設計を立てゝあれば斯くも永引くものにや、彼の交通頻繁の場所を何と心得てか誠に以て人困らせの行り方といふべし。

合併と獨逸東宮

雜報

エミール　ライヒ博士（匈牙利人にして著述を事とし又歷史學の講演を爲す彼のヴエネツエラ事件に當り英國政府の顧問する所となりて英國方の主張を整理せり）モーニングポストに一文を寄せて曰く獨逸東宮が正に極東旅行の途に就かれんとするは人の熟知する所なるが此時に當り日本が朝鮮を合併したりとの報道に接す一見したる所此の二箇の事實の間には何等の關係なきが如しと雖も然かも東宮の日淸訪問は政治上重要なる意味あり殊に日本の政策とは密接の關係あるなり蓋し日本の帝國主義の調子と永久の目的物は支那海と印度洋の間に基布せる多數の島嶼ならざるを得ず是れ獨逸東宮の外交的旅行と關係ある所以なり何となれば右の諸島（ジャバ、スマトラ、ボルネオ、オチモル及其外多數）主として和蘭の領有する所に係り而して獨逸が專ら其政策を集中し且同情と嫌忌を示す所のものは實に此諸島なると同時に獨逸が英國に於て敵愾的打擊を加ふるも此の諸島なり蓋し英國少なくも英國保守黨の政府は和蘭に手を觸るゝものは即ち英國に手を觸るゝもの思惟し居るなり故に日本朝鮮合併にして日本の帝國主義が南方に向はずして大陸に向ふことを示すものとせば日本將來益々大陸に於て多事ならざるを得ず果して然りとせば獨逸は和蘭の植民を手にせんが爲めには歐羅巴と亞細亞の兩方面に於て戰ふの必要なく專ら歐羅巴の舞臺に其目的を達するを得可し獨逸東宮今回の旅行は獨逸の大利害が果して那邊にあり且蘭領植民地を手にし得べきや否やを明にせんが爲めにして若し東宮にして日本が大陸に向ひ其帝國主義を持續するか若しくは南方諸島の一部を以て滿足することを發見せんには獨逸は其帝國主義を行ふに躊躇せざる可く若し又東宮にして日本が南洋諸島の獨逸の手に歸するを欲せざることを發見せば獨逸の政策は必ず大變化を來すべしと云ふ

南滿社債募集

南滿鐵道社債募集に就ては目下海外における我財務當局と彼地資本家との間に交涉を進めつゝあるが日韓併合後に於ける我地位は海外の資本家に益々安心と好反響を與へたる模樣なれば遠からず有利なる條件を以て成立を告ぐべしと又舊韓國の高利公債に就ても或る時期に於て借替整理の交涉をなすべき筈なりといふ

●京城民團學事狀況

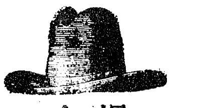
二十三日櫻井小學校落成式に於ける古城民長の報告演說中學事狀況に關する一節を掲載せんに二十八年より本年に到る十五個年間の生徒增加は實に驚くべき有樣にして約四十倍の增加を示し之を最近二三箇年間の平均に徵せんか一年約五百人宛を增し隨て年々新校舍增築の已むを得ざるに到れり而して現在の學童數は合計三千七百九十八人にして之を內譯すれば男千九百四十九人女千八百十一人外に幼稚園百八十八人高女二百七十三人なりとす之に要する經費は經常費九万五千三百七十二圓にして內小學校に七萬二千二百四十七圓高女に二萬九百二十二圓幼稚園二千百六十九圓を要せり之を歲出經常部總額二十五萬三千五百圓に對比する時は約其四割に相當するものとす即ち吾が居留民は一戸に付九圓一人に就き二圓三十錢宛を敎育の爲めに負擔し居るなり且つ生徒一人割にする時は高女一人に就き七十八圓小學生徒一人に就き二十圓を要するものとす更に臨時部に於ても亦多額を要し現に新築中の高女校舍に見るも其經費四万五百八圓なれば生徒一人の爲めに九十圓を又櫻井小學校新築費二万百七十六圓を要したれば生徒一人の爲めに三十六圓の割合となる實に吾等居留民は敎育の爲めに心血を注げる多大なりと謂ふべし云々

講談　大岡政談　越後傳吉　第八十四回

旭堂南陵講

越後屋の方へ泊り込んだ庄左衞門早の二人は心配だ、身に疚しいところがある、只一ッの望みといふのは最早傳吉が白狀をいたして爪印口書になつて居るといふだけだ　早「れ父つさんね　庄「何だい　早「何うなるだらうのう　庄「何うなるものかのう、何でも今度の町奉行の越前守といふ人は、ヨイよく譯の分る人ぢやさうで、私等がためには善惡の分る人はいけないでないか　早「さうだよ　庄「餘ッぽど工合ようはなきやアならぬ、れ早、れ前なんぞは女のことだから饒舌り損ひがないやうにしてくれぬと不可ぬぞ、私ア大丈夫だから」と案じてゐるうちれ奉行所より庄左衞門早兩名を呼出して與力のれ調べ之は兩人が願人になつてるからで詳しく願面に認めて願出せといふことになりましたが、夫がなか〳〵難ッかしいもので、どころがこの時分には馬喰町の公事宿を廻つて居る手代といふ者がございます、只今でいふと三百代言代書人を兼帶したもので、斯ういふ田舍から來る人間を相手に錢を捲き上げるその手代仲間多數が彼方此方を廻つてるんです　甲「オイ　乙「エ、　甲「どうだい、れ前は今度は越後屋の係りだな　乙「さらく　甲「良い代物が舞込んでおちやアないか　乙「さうだよ、齋田の方から來て居るのだ　甲「彼奴は汝一ッ良い金儲けにしてくれなくちやア不可ねへぞ　乙「分つてる、乾度澤山儲ける積りだ」　甲「皆が見込んでるんだからな、可訝しなことをするなよ、ウンと儲けさしてくれ、美味い酒を飲ましてくれ　乙「ヨシ、心得た」藤兵衞といふ手代が越後屋の方へ丁度入る係りと見ね、庄左衞門れ早の居室へ歩つて參りました　藤「エ、今日は……エ、手前は公事宿にいつて極く明るい、書面を以てれ願ひ出し、さういふことを皆取扱ふ人間でございます手代の藤兵衞と申します　庄「ア、さうでがすか　藤「貴方々は何ですか、最早願書が上りましたか　庄「まだ上られねでがす、明日の朝上げなきやアなんねへので……　藤「ア、さうですか、宜しうございます、エ、私が斯ういふことは皆引受けるんですから此所の宿へれ泊りになる公事々は皆私が引受けになつて居ります、認めさして貰ひますから　庄「ア、何うも御苦勞さまで、どうぞ書いて下さいますやう　藤「ハイ、エ、ところで一寸れ答へ申して置きます　庄「ハア　藤「この願書にも上中下別段の上と斯う四ッございます　庄「ハイ何でがすかな、この願書なんぞに上中下なんぞといふのがございますか　藤「エ、ございます、そりやア矢ッ張り何でがすな、上になりますと紙が良うて墨が良いと、うんなものぢやアございません、紙や墨なんぞは同じことでございまして詰りこの願面の撰樣に依つてれ奉行樣の思召に違ひがある只普通の願面といふことでございますと貴方が是々ぢやと仰しやるその通りに私が眼の前でサラ〳〵と書いてサアこれをお出しなさい、と斯ういふのがマア普通の願面で……　庄「ハア成ほど……　藤「こいつアマアれ奉行樣が御覽になつても、夫だけのもの、中の方になりますと、一通りマア仰しやることどを承はり、假令暫らくでも次の室へ私が立ちまして一寸考へ、此所はあゝいふてれいでになるけれど、斯ういふいひ廻しにせんならんと、マア色々と考へて見るのがこれが中の方で……　庄「ハア成程　藤「上の方になりますと、こいつア一通り仰しやることを聽きまして、ズッと下書をして、自分の家へ歸つてから今晩徹夜に篤と考へて置きます、それをれ奉行樣に御覽に入れますと、れ奉行樣の胸に落入り方が違ひます、譬へば貴郎が斯う仰しやることでもズッと御覽なされると、ア、これは可哀さうなものだとか尤もぢやとかいふやうに、れ奉行さんの腑に落入るやうに書くのです、これが詰り上でございます、で別の上といふのはこれはもう一番喧しいもので……　庄「ハア　藤「馬喰町の手代仲間が二十人ばかりございます別の上にいりますと、二十八人の手代が今晩私の家へ殘らず集ります　庄「成程……







東京電報

▲山縣議長の伏奏　山縣樞密院議長は本日樞密會議決了後直ちに參内し至尊の御諮詢に對し審に奉答せり總督府官制及李王家の職制は十月一日發表すべし(廿六日)

▲副統監の出發期　山縣副統監は出發來種々朝鮮政務に關し政府と打合する處ありしが最早交渉案件も略ぼ終了せしを以て明二十八日出發歸任の途に就く筈(廿七日)

▲煙草發起人會　衆議院議員根津嘉一郎氏は朝鮮に葉栽培の目的を以て朝鮮煙草株式會社發起人會を二十六日開會せり(同上)

▲日英水電の解散　日英水電シンジケートは今回愈々解散する事に決定したり(同上)

▲新操典と大演習　日露戰役の實驗に鑑み研究の結果に依りて改正せし新歩兵操典の教育を受けたる諸兵を以て編成せし事なれば今回演習の良否は操典の良否を判ずるものなるに依り嘗て歐米に於ても我新操典に付き可否の議論ありし事とて各國の注目を惹き外國武官の陪觀希望者多數なり(同上)

▲中樞院官制内容　中樞院官制の内容は總督の諮詢にして其定員を設けず(同上)

▲司令部變更せず　朝鮮駐剳軍司令部側は從來の如く何等の變更なし(同上)

▲義勇艦隊借入金　第三義勇艦隊の義金不足の爲め年賦償還の方法を以て南滿鐵道より借入の件理事長と滿鐵總裁との間に協議中(同上)

▲商品改良會開催　農商務省商品陳列館の主催にて第二回商品陳列會を十月一日より一箇月間開催の筈にて東京市其他各縣より數百點の出品あり頗る盛況なり(同上)

北京電報

▲清國借款と事業　清國軍機大臣等は先頃より徐世昌澤公と密議し借款を以て四川、西藏、雲南湖西各鐵道敷設中一方蒙古西藏の金鑛其他を開拓し進んで利權を回收すべき事を決議したり(廿六日)

▲膠州灣獨兵增加　獨逸は靑島駐屯兵を增加して膠州灣一帶に騎兵二千名歩兵一千餘名海兵一千六百名を駐屯せしめたるを以て清國外務部は增兵の理由を北京駐剳獨逸公使に詰問し速かに撤兵を求めたるも獨逸公使は今に何等の回答を與へさる由(同上)

▲北京城外の馬賊　近時北京城外に於て馬賊及び土匪出沒し被害頻々たるも軍政院にては之れが取締緩慢なり(同上)

▲大阪期米電報▼

▲前場　九月止十四圓七十九錢▲十月止七十三錢▲十一月止七十三錢▲後場(廿七日)　九月限寄[illegible]

▲仁川米豆取引所▼

▲後場　十一月一節八圓八十錢▲二節七十八錢七錢八錢▲三節七十九錢八錢七錢▲出來高千四百五十石

●特種工夫解放さる　全羅南道[illegible]兩、河東間の道路工事に使役せる暴徒約二百名は嘗つて暴徒の群れたるに付彼等も共に放免したるに孰れも欣喜雀躍し聖恩の宏大なるを感泣して夫々歸りたりとの事なるが彼等の

と云ふ

●會議所の臨時總會　京城本國人側商業會議所にては二十七

一會議所定款改正の件、二書記長選任の件、三日韓實業家懇親會準備委員選擧の件

雜報

新總督府の官制

二十六日樞密院會議を通過したる朝鮮總督府官制案の内容を聞くに左の如し

●朝鮮總督の權限　總督の權能は略臺灣總督と同じく其の委任の範圍内に於て陸海軍を總督し内閣の監督を受けて諸般の政務を統理すべきものなり尤も軍事に就ては夫々陸海軍大臣參謀總長海軍々令部長の區處を受くべし其他政令を設くる權能防備設備を爲し又安寧秩序を保持する爲め兵力を使用する等の諸權能を有する事等臺灣總督と同じ尚ほ總督は親任官にして陸海軍大將若くは中將を以て任せらる

●行政總官　是れも親任官にして副總督ともいふべき職權を以て總督に隷屬し行政を統率す行政長官の下に總務部、内務部、農商工部、度支部、司法部の五部を併置し各部には左の各課を置く由

行政總官
▲總務部　外事局…人事局　會計局
▲内務部　地方局…學務局
▲農商工部　農商局…殖產局
▲度支部　司税局…主計局
▲司法部　民事課…刑事課　庶務課

宗教問題の其後

朝鮮に於ける現在宗教に對しては近く何等かの措置を施さるべき筈にて當局者は目下其歷史及教義幷に社會的勢力等に就き詳細調査中に在り其結果存在を許すも害なしと認めたるものに就ては一定の宗教法を律して其生命を保たしむべく然れども實際上其多數は如何はしきものなれば是等に對しては斷乎たる處分を行はるべし隨て之が發表を見るまでには尚ほ多少の時日を要すると共に緩急宜しきを失せざる筈なりと

區裁判所の減少

法部時代に於ける區裁判所の豫定總數は百三十一箇所なりしが其後統監府司法廳の所轄となりて百三箇所に減少し現在の開廳總數八十三箇所なるが今度總督府の設置に就いて前項未開廳の分は其儘とし開廳せ八十一箇所も又々十四箇所を減じ新たに二箇所を增置することに決定したる由にて近日決行せらるゝ筈なり因に記す正裁判所に於ける職員中にて最も少き處は日鮮判事各一人書記二人通譯一人なるが此以上の職員を有する處は此際多少の淘汰を行はるゝ筈なりと

新官制と徴税費

舊韓政府時代に於ける徴税費を見るに其割合頗る巨額を要し現に内國税調定額八百三十三萬圓に對し財務署費は百三十餘萬圓を廢し實に一割五分六厘强を示めせり然るに今後徴税機關の變更と共に大に此點に刪減を加へられたれば新官制施行後の徴税費は七八步の範圍に緊縮さるべしと云へり

總督府と幹部員

別項朝鮮總督府行政總官及各部長官並に局課長の人選を聞くに左の如し

朝鮮總督　寺内正毅
行政總官　山縣伊三郎
總務部長官　有吉忠一
外事局長　小松綠
人事局長　國分象太郎
會計局長　兒玉秀雄
内務部長官　宇佐美勝夫
地方局長　未定
學務局長　未定
農商工部長官　木内重四郎
農商局長　未定
殖產局長　未定
度支部長官　荒井賢太郎
司税局長　未定
主計局長　未定
司法部長官　倉富勇三郎
民事課長　松寺竹雄
刑事課長　安住時太郎
庶務課長　山邊勇輔

寺内統監の視察

寺内統監は廿七日午後農商工部に赴き第一回園藝品評會の陳列場を視察せり

●園藝品評會ご觀覽　既報の第一回園藝品評會は廿六日午後四時を以て會場なる黃金町前農商工部に簡單なる開會式を擧行せしが陳列品數は四千餘點に達し審査は同日午前より着手し廿七日午後五時結了する筈なれば彌右審査結果發表と同時に廿八日午前九時より午後四時まで汎く觀覽を許すと其期日は來十月二十日迄にして會場は國旗裝飾をなしたるの外、苗木、草花の植付及び盆栽も參考品として出陳しあれば其美觀言はん方なく又觀覽者の便宜を計り和樂園、萬壽園、種苗園は協同の上瀟洒たる四阿屋的の構へに辨當、すし、ビール、サイダ等の賣店を出し參考舘にては果實、覆盆子酒、栽及び蔘政局製造の糖蔘(一名人蔘砂糖漬)を販賣する筈なり

●安奉線工事の近況　安奉線中現下開通せるは奉天より石橋子に至る三五哩八にして本年末迄には本溪湖迄の開通を見るべく一面安東縣方面は同鷄冠山間五二哩八里程は來る天長節迄には是非開通式を擧げんの意氣にて極力工事を進め居れり尚は鴨綠江の鐵橋は其規模の大なる東洋無比と稱せられ全長二千五百呎に亘り橋脚亦た河床下三十尺より四十尺に及び工事は既に橋脚の七分通迄を畢へたるが概して同沿線は風光に富み鳳凰城及橋頭附近の釣魚臺を初め殊に連山關附近の如きは畫も及ばざる絕景にて今後全線開通の上は外客吸收上唯一の材料ともなるべしと

●新官制ご吏員遺繰　新官制施行に伴ふ官吏の異動は屢次所報の如く當然免るべからざる結果にして既に其向々に對して内命を下したるが其多くは彼是在勤廳の遺繰にして實際罷免さるゝものは案外少數なりと則ち地方行政刷振の結果地方に增員を要する爲め道郡所屬に轉任せしめて以て急激の變革を避くる由なるが唯だ此際最とも奇とすべき現象は官吏の資格に於て舊韓政府及統監府特別任用令の下に高等官たりし人々の降等降級是なり故に是等の人々は内命の降下と共に殆んど當惑を極め居れりと云ふ

●始政紀念スタンプ　朝鮮總督府始政紀念の爲め來る十月一日京城市内の各郵便局、郵便所及地方重なる郵便局をして紀念郵便繪葉書を發賣せしめ且つ特殊通信日附印をも使用せしむる由尙ほ日附印の使用期日は十月一日のみなるも其以後三日間は公衆の希望に依り郵便物以外の物件に一錢五厘以上の郵便切手を貼用せるものに對しては其請求に應じ該印を押捺する筈なりと

●虎列拉沿岸を襲ふ　渤海沿岸に於ける虎列拉は淸國戎船によりて西海岸の各地に輸入せられ既に大同江岸には三名の患者を發し又黃海道殷栗郡雲山面及豐川邑にも二三の罹病者あり更に同道夢金浦にも二三日前三名發生し廿六日に三名續發して蔓延の兆候あるを以て警務總監部は廿七日宮尾軍醫及岡本警部を同地に急派したり而して目下擬似として取扱居るが其傳來の系統甚だ恐るべきものなりと

●統監ご古代建築物　寺内統監の朝鮮古代建築に對する觀念は頗る深甚にして今回關野博士の同調査に對しては至大の感興と望みを屬し出來得る限り調査上の便宜を與へらるゝとの事なるが同博士の調査も今回にて完成を告る由なれば同終了の上は未發の貴重遺物にして汎く紹介さるゝと同時に藝術上多大の貢獻なるべしと云ふ

●慈惠院の狀況報告　二十五日光州慈惠院の開院を以て今回增設の慈惠院は全部開院したるが開院後の狀況に就ては水原其の他二三の報告あるも未だ統一したる狀況報告なきを以て内部は二十六日新設地に向け右狀況報告すべき樣電命したりと

●參與官會議の例會　本月二十七日午前十時半より統監府に於て參與官定例會議を開き寺内統監有吉總務長官、木内、倉富、俵、小松、宇佐美、國分の各參與官、大屋、池田兩管理局長、明石警務總長鈴木局長兒玉秘書官等列席せり

●朝鮮人官吏敍位式　警務總監部警務官具然壽氏は從五位に警視李憲柱、黃信泰、金相淳の三氏は從七位に趙聲九氏は正七位に張亨根、權泰珽、崔基南、金海龍、權重翼の五氏は正八位に敍され廿六日交付式を行ふ

●京城民會の委員會　京城民會委員會は廿六日午後四時より開會し龍山水道契約に伴ふ豫算の件は直ちに可決し火葬場の件は廿七日相携へて實地調査を爲す事とし散會せり

●仁川署ご代書業者　仁川警察署にては先頃警務總監部にて發布せし代書業取締規則と同一の者を京畿道警務部令第一號を以て發布せり

●寺内陸相と駐剳軍　既報の如く寺内陸相は近日中に龍山各諸隊を巡視さるゝ筈なり

●中川檢事正招宴　中川檢事正は廿八日午後五時より總監部各高等官を京城ホテルに招待し晩餐を共にする由

●岡本參謀の延期　岡本參謀は北朝鮮巡視の爲め二十七日出張したる如く記載したるも都合に依り延期されたり

●大每記者の入京　大阪每日新聞記者豐島捨松氏は廿六日入京天眞樓投宿

合併後の產業振興策(十)

百三十銀行京城支店支配人　菅原大太郎君談

朝鮮の產業振興に關しては、時に依り事に當つて何彼と考へることの無いでもないが、今不意に其全般に亘りて方策があるか、怎うかと開き直つて尋ねられては聊か辟易せざるを得ない、急に考へを纏めるのは困難だ其のつもりで聞いて頂きたい。

貴紙連載の『產業振興策』を讀むに諸士の說何れも肯綮に中り、マツタ時弊を穿つてゐる、就中竹山君の治道方策などは最も當を得たものと思はれる、交通機關、殊に都會と田舍とを結びつくる道路即ち貴紙の所謂經濟道路は、甚だ立派で無くとも物資の運搬に差支無き程度に於て成るべく急に開通して欲しい、これは生產費を安くすることゝ田舍を發達せしむることゝの二樣の意義を含むのだ、合衆國の豪傑が道破した如く、田舍を發達せしむることは都會の發達を意味し、轉て國運の進展を意味するのである、で一言にして盡さんとせば產業振興策は田舍を發達せしむるに在りともいへよう、如斯交通機關は產業の振作に就ては最も必要なことであるが、同じく其の保助機關として金融機關の完備を必要とする併し朝鮮の現狀に於ては先づ充分であらうと思ふ

而して產業其のものに就ては普通農事の改良は勿論養蠶果樹の栽培等大に奬勵すべきであらう次に工業は原料は安く生產され且つ勞力も安い隨て適當なる方法を講せられたならば大に發達せしむることが出來る但し其種類に至つては專門家の研究に俟たねばならぬ、又水產業は現に内地人の指を染めたるもあれども甚だ振はない吾輩の方では安心の出來る方法あらば資金融通の便宜を計るつもりである、夫から鑛業、此の方には現に資本を下してゐるが成績は頗ぶる良好である、故に鑛業家の心一つで、俗に云ふ山師的ならざる鑛業家は資本の乏しきを憂ふるに及ぶまい、斯く一々に說き來れば開發の地は中々に廣きながら又夫れに應ずる手段方法が有るもので、要は唯努力……政府でも人民でも……するに在る若し之れを爲されたならば吾輩は遠からざる將來に於て土地調査局の仕事を了り、登記制度が設けられたる曉、目醒しき田舍の發達、產業の振興を見べく信ずる理由を有するのです云々

朝鮮視察團の行程

(鐵道院主催に係る)

鐵道院主催朝鮮視察團体旅行日程如左(總員二百五十名汽車、汽船共二等別仕立)

▲十月七日前十一時下關發▲八日午前九時三十分釜山着午後十二時四十分同地發▲同八時大邱九日午前一時大田同五時四十七分永登浦通過▲九日午前六時六分京城着十日滯在十一日午前七時十分京城發▲同七時二十一分龍山同九時二十分開城同十一時五十九分新幕午後一時五十五分黃州通過▲十一日午後二時四十八分平壤着十二日午前十一時平壤發▲午後二時十二分定州▲同五時十分新義州着安東縣渡船十三日新義州引還同日午後六時新義州發▲同九時五分定州十四日午前十二時二十分平壤同三時二十分新幕同五時四十分開城同七時三十七分龍山通過▲十四日午前七時四十二分南大門着▲十五日午前七時十分南大門發▲同七時二十分永登浦同十時五十四分大田午後十二時二分大邱▲十五日午後五時十四分釜山着同十時三十分釜山發歸途乘船

獨前拓相の出發

獨逸前拓相デルンブルヒ氏は既報の如く二十七日午前九時十二分南大門驛發京義線に投じて安東縣に向へり停車場には寺内統監代理及明石少將、倉富、小松、俵、各參與官、有吉總務長官、兒玉秘書官、市原韓銀總裁、淺野三井支店長等見送れり

●關野博士視察日程　既報の如く廿五日宇佐美次官と會合し調査物に對する打合あり廿六日は谷井栗木兩學士を隨へ各城壁及樓門を觀察し廿七日は北漢山方面に赴かる而して廿八九兩日は滯在三十日開城に出發同地視察の上來月二日平壤地方を巡視し七日歸京滯留四日後十二日慶尚道に向ひ沃川の俗離寺を初め同全道に亘り更に濟州島に及び夫より全羅道に引返し光州羅州は勿論汎く全道を巡視の後江景より群山に出で海路馬山を經金海附近歷視十二月下旬同地より直に東京に歸向さるべしと

●仁川會議所豫算會　仁川商業會議所にては既報の通り廿六日午後一時常議員會開會の處定刻に後るゝ事一時間にして開會稻田副會頭、田中、奥田、村谷の各常議員出席四十四年度豫算を附議し第九回聯合會に提出する議案及び名稱變更の件は本月末日靑木會頭の歸仁の上總會を開き決議する事とし同三時三十分閉會したりと

●水道通水式の準備　仁川水道通水式擧行の際有志の催になる模擬店の場所は未だ決定せざるも庶務會計係り加來榮太郎、加藤東太郎、森常吉、補助樋口助役、模擬店係り靑木一葉、奥田貞次郎、稻田勝彥、村谷吉藏、田中佐七郎、補助岡本民團書記と決定せり

●京城夜學校の擴張　同校にては學期末に付昨今試驗中にて本月三十日證書授與式を擧行する筈十月三日より教師を增聘し新に四學級を編成し中學校三年程度の學科を教授する由なり

●中村旅團長の出張　中村旅團長は廿七日午前九時廿分龍山發北行列車にて平壤へ向け出發したり

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
廿七日	一七〇、三〇六、五〇	五六一

▲仁川米豆取引所▼

▲前場(廿七日)　十一月一節八圓八十八錢九錢六錢五錢三錢▲二節八十二錢一錢八十錢七十九錢八錢▲三節八十八錢八十錢一錢八十錢一錢二錢一錢八十錢▲出來高二千三百石

▲大阪期米電報▼

▲前場(廿七日)　九月限寄十四圓七十錢▲十月限寄不明▲十一月限寄十四圓七十錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲神代丸　廿八日大阪より入港
▲溫州丸　廿八日大阪より入港
▲壽浦丸　大阪より入港
▲神代丸　廿八日後四時大阪へ向出港
▲壽滿丸　廿八日後四時大阪へ向出港

公人私人

▲野木傳三(水原模範場技師)　二十六日入京浦尾
▲白坂榮太郎(同上)　同上
▲兩角熊雄(平壤水道事務所長)　二十[illegible]
▲沖津戸十郎(仁川水產會社取締役)　二十六日仁川より入京巴城館に投宿
▲三池鶴彥(陸軍大尉)　二十六日仁川行
▲村幸長(度支部建築所技師)　二十六日仁川行

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿六日の分如左
乘車　五七四　下車　六二一
乘車賃金　一一二〇、四二一
▲南大門荷物扱高　廿六日の分如左
發　七七屯　着　九九屯
發送賃金　一四〇〇、〇二一
▲龍山驛の乘降客　廿六日の分如左
乘車　二一〇　下車　一八六
乘車賃金　一六〇、〇八
▲龍山驛荷物扱高　廿六日の分如左
發　一九屯　着　三〇屯
發送賃金　一六七、一四

▲仁川商況(九月廿七日)

●玄米●　慶尚も品薄と定期受渡米の需用を目前に控へ居る爲め前日來持合の姿にて黃海上物九圓三四十錢忠淸物八圓八十錢見當なるべく昨日百俵内外の入津ありたるも午前中には手合せ出來ざりき

●小麥●　一時盛んなる入津ありたるも漸次品薄となり昨日二百俵餘りの運着ありたるが相場は六圓三十錢内外

●粟●　相場は持合ひにて四圓四十錢見當なるも精米所向餘り買進まぬため茲一寸膠着の態なり

●大豆其他●　地方品薄の爲め相場は堅氣なるも出廻り皆無なり

貨幣發行高の激增

韓國銀行に於ける貨幣發行高週報を見るに同銀行券總發行平均高九月十八日より同二十四日迄實に一千五百二十二萬七千二百六十六圓に達し居れり今右に就き當事者の語る處を聞くに本月は例年銀行事務の閑散なる時期にして今後十月初旬より金融に繁忙を來すを例とせるが本年は近來特に貨幣發行高の激增せるは茲に其の原因として見るべきもの三あり曰く

△内地米穀の騰貴　昨今内地に於ける穀物は水害其他の爲め非常の騰貴を來し勢ひ當朝鮮より移出して之れを補充せざるべからず即ち群山、木浦其他の地方より移出すべき米穀の資金として當銀行券の發行を促さるゝは當然の數にして之れ其一原因たるなり

△内地實業家の發展　近來朝鮮の併合されてより朝鮮に於ける實業の有望なるを喧傳され爲めに内地の實業家は朝鮮に一大發展を試みんとし内地銀行に托して當銀行に爲替を組み渡鮮したる後當銀行に其發行を促がし來り實業の資金に投せんとするもの增加し來りたるは其原因の二なり

△政府事業の增加　時局政變の影響よりして政府の事業近來特に增加し各種の建築物其他の經營續出し又今後經營せられんとするものありてや日本銀行より第一銀行に依賴し第一銀行にては更に當銀行に廻附し來るもの最も多く爲めに近來週報に見ゆるが如き發行高激增の現象を來したるが如し云々

雜報

滿州の大豆戰

本年產大豆の作高は屢々豫想されたる如く氣候順良なりし爲め相當の增穫あるべく一般に信じたる處なるが其後新民屯及び北滿地方は洪水の爲め幾分減收を來せしも尚は全般に亘り本年の實收穫は昨年に比し一割方の增加と見て約七百万石强の收穫あるべしと唱へられつゝあり然も奥筋市場に現はれたる新豆は粒大にして實入非常に宜き由なれば本年の作柄は昨年に比し優に良好なるべし而して各地傳ふる氣配も先づ平穩にして豫想されたる如き高氣配にも非ず殊に昨年先約買占めの競爭に懲りてか各輸出商も雲行如何を構へて未だ容易に手をさゞる模樣なるが三井及びサミュルの外に本年は獨逸商人も本國の保護の下に大飛躍を試みんと既に商戰準備を怠り無きやの說もあれば之より追々各輸出商の買附競爭開始さる可く自然今後は勢ひ大資本家に非ざれば對抗し行くを得ざるの傾向となり來れるを以て邦商間にも夫々資金準備に怠らず三井の如きは既に三十餘名の責任者を奥筋各地に派出し昨今ハルビンを始め名根據地に向つて永遠の商戰に備へんとし又各國商人の重なる者は續々大倉庫を建設しつゝあれば本年の大豆戰は一層目覺しかるべく買付競爭の如きも益々激甚を極むるなる可し

馬來半島の護謨

馬來聯邦總督アンダーソン氏は此程新嘉坡に開催せる農產物品評會に於て護謨樹栽培に關する演說をなしたり時節柄左に之を摘錄すべし

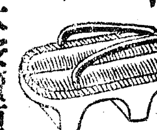
▲護謨は半島の富源　馬來半島の農業は近來急激なる進步をなし而して其進步は主として最近に勃興せる護謨栽培業に基けり護謨は實に半島の唯一且つ特有なる富源にして將來半島の運命は係りて該業の上にありと云ふも過言にあらず

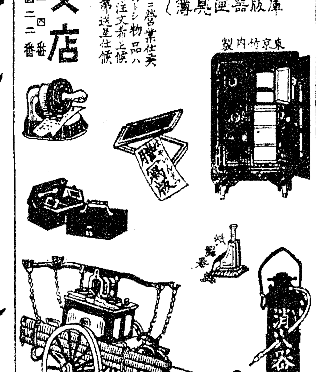
▲驚くべき發展　現時半島に於て既に開拓せられたる護謨園は四十萬エーカーの面積に達し是等の內には植付後數年に及び現に多量の收穫を得つゝあるものあり顧みれば六年前に於ける半島の護謨輸出額は僅々五噸に過ぎざりしが本年の終期に至らば優に六千噸の輸出額を見る蓋し難きにあらざるべし

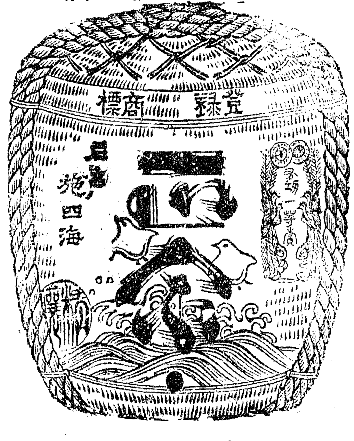
▲世界の大勢　僅に六箇年間に斯る結果を見るは長大足の發展たるに相違なきも向後更に六箇年を經過せば其總生產額は昨年に於ける全世界の護謨生產額と同額となり世界の護謨事業界に一大革命を起さしむべし

▲諸般事業に及ぼす影響　右の豫測にして實現さるゝ暁には汽船舶、海運業者銀行家及び一般商人に及ぼす影響は果して如何之を好事にあらずと云ひ得べきか而して此將來の見込に就ては銀行家及商業家の共に疑はざる所なれば護謨栽培業者は最早如何にして資本を得んかとの問題に就ては何等顧慮するを要せざるなり要は、只科學的知識、精力、經驗、熟練等を運用するにあり

▲勞働問題　吾人は既に資本の供給に關し顧慮を要せずとするも他に顧慮すべき一事は勞働者の移入問題是なり今日半島に於ける最大缺點は勞働者の缺乏にあるは何人も知る所なり、從來勞働者の大部分は印度移民に依りて補足されたれども同移民就中タミシル苦力は病弱にして且つ衛生思想に乏しきを以て聯邦政府は今後半島移民中最良なるジャワ移民の增加を歡迎せんと欲す

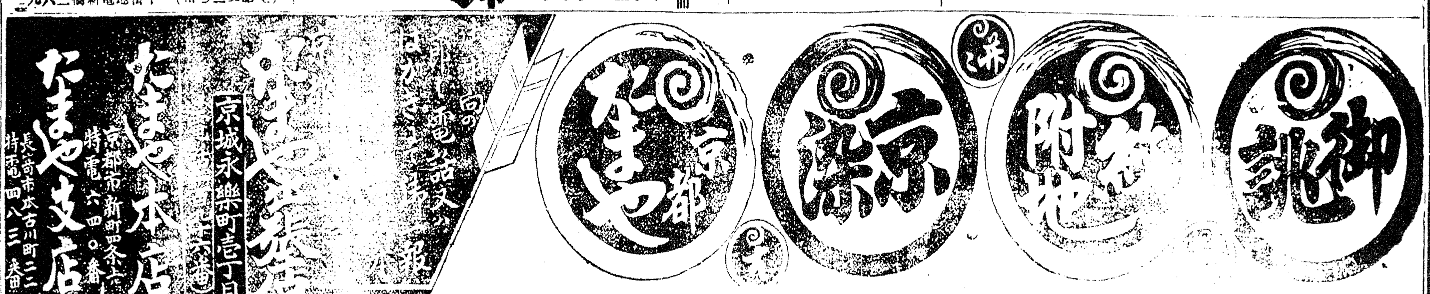












臨時水害救濟會寄附金募集廣告

今回の水害は近古未曾有の慘事にして其範圍頗る廣く東京、神奈川、千葉、群馬、埼玉、栃木、茨城、福島、宮城、岩手、山梨、長野、新潟、靜岡、三重、愛知、秋田、山形、鳥取等の諸府縣に渉れり此等罹災地方の人民は或は其家屋を流亡し或は父母妻子離散し衣食の窮乏を訴ふるもの其數幾十萬人の多きに上る眞に痛嘆に堪へざるなり若し之を等閑視するときは飢餓に亟ぐに病疫を以てし悲慘の狀況日々增大せんとす豈急遽之を救濟せずして可ならんや是に於てか我々有志相謀り治く天下の同情者に訴へ寄附金を募集して以て適宜各府縣に分配し救恤の資に供せんと欲す大方の篤志家諸君希くは本會の旨を諒し奮て此擧賛助せられんことを

明治四十三年八月

東京日比谷衆議院圖書館内
臨時水害救濟會
總裁 侯爵 松方正義
副總裁 長谷場純孝
副總裁 男爵 澁澤榮一
常務委員 益田孝
同 豐川良平
同 中野武營
會計監督 佐竹作太郎
同 林田龜太郎
同 太田峰三郎
同 根津嘉一郎

注意
一寄附金は金一圓以上の事
一寄附金締切は九月三十日限りとす
一寄附金は特に特定なき地方は左記宛便宜御郵送被成下度候
東京市日比谷衆議院圖書館内
臨時水害救濟會會計監督



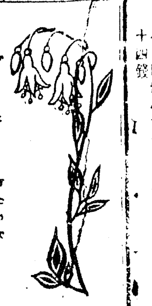
…今回併合の結果大赦行はなきは二三圓多きは二三十圓に達せり

…日午後二時より臨時總會を開き左記事項を議せり

▲足立綱吉（阿波共同漁船支配人）二十六日釜山より入京京城ホテル投宿

▲齋藤金納（逓政部長）二十六日開城より入京天眞樓へ投宿

鹿の子の凄腕



[illegible]

亭主の留守に失敬

[illegible]

自稱密偵の不埒

[illegible]

神經過敏な魚商

▽兎に角無事で目出度

[illegible] 面の各小島へ魚類買 [illegible] する者の由なるが去 [illegible] り安眠島の沖に當る [illegible] なる戶數十七八戶 [illegible] 魚を買ひに出かけし [illegible] 頭なりしが折惡しく [illegible] 泊せんとせし處へ一 [illegible] 輔を冠り同人の附近 [illegible] 怪しき點あるにぞ時 [illegible] 自分が連れ來りし朝 [illegible] からと云ひ置き船を [illegible] びたるに夜に入り八 [illegible] 火を攜へて何やら八 [illegible] で愈々岩陰に身を隱 [illegible] しに其儘靜まりし樣 [illegible] 翌日午前十二時頃まで岩角に身を潜め居しが船に殘したる朝鮮人が滿潮を幸ひ同人の行衛を氣遣ひ其島を一週し其の隱れ居る方面に向け船をよするに天の與へと直樣飛乗り這々の體にて仁川に逃げ歸つたとは何んだか少々慌てた樣なり

食用茸と毒茸（下）

（植物園敎室にて川村理學士談）

●毒茸を判別する必要●怖しき一家の笑ひ死●馬糞で養成の食用茸

▲鍛玉● 食菌中の鍛玉は成長したものになると徑五六寸もある白色の玉で皮を三重に被り居つて其二皮を剝ぐと暗黒色になり四五日間乾した後指先で叩くとポン〳〵と煙が出づるが其肉には他の菌類と全く異なりたる人間の尿と同一なる尿素が含有して居る▲養菌● 日本で椎茸の養成せらるゝ事は既に世人の知る所であるが此外京都附近では冬季にナメ茸を養成する又西洋でも學者が血の中に養成液で養成する外食用としてはハラ茸を養成するのみである此ハラ茸の養成は極めて簡易の方法で馬糞を乾燥して暗き處に入れ洋燈に火を點じて置くと三四日で發生するので歐米等にはハラ茸養成の大會社もあるが本邦在留の外國人中には床下等に養成して食用に供して居る者があり又新宿御園でも一時養成した事もあつた▲茸の盆栽● 椎茸は椎の木、松茸は松の樹下に發生する事は何人も知る所であるが今まで言ひ傳へられたる所に據ると松茸は赤松に限られたる如くであるけれども樺太の如き赤松の絶ゑて無い處にも松茸が發生するので尚ほ學者の研究中である又玉茸は樅と松の雜生したる地中に發生するもので盆栽に松樅などを雜へ植ゑ玉茸の根株を堀取りて植ゑ置くと翌年の秋は發生して小指位の大さまで成長するから此玉茸は盆栽として造つても面白い

朝鮮人の偽證罪

▽賣買契約を否認して

朝鮮に於ては民刑事共に偽證罪を犯す者多きを以て檢事局に於ては民刑何れを問はず該犯人に對しては嚴重なる處分を爲す由なるが茲に中部貞善坊樓洞四十五統四戶洪致玄方崔聖泰事崔昌信は本年三月十四日（舊二月三日）中部長通坊丁萬石契貫子洞二十一統四戶鄭義好方に於て自分所有の中部貞善坊敎寮契上洞にある瓦屋拾間半及其宅地を代金七百二十圓にて鄭義好に賣渡す事を承諾し賣買契約證に捺印して之れを鄭義好に交付したる事實あるにも係らず原告鄭義好被告崔昌信間の京城地方裁判所民事部四十三號民第二三一號假差押解除請求訴訟事件に付本年五月十七日民事法廷に證人として召喚せられ證言を爲すに當り該賣買の事實を否認し偽證の申立を爲したるより直ちに告訴せられ伊藤檢事の手にて取調中の所證據充分なるにぞ起訴せられ公判に付さる

新町樓主の恐慌

▽南山樓三咲の足拔き

南山樓三ツ咲事小野めさ（二三）は昨年十二月頃より東京生れの活版職工岡澤卯三郎（二五）と馴染を重ね居りしが去る二十一日岡澤と牒し合はせて外出せし儘行衛不明となりしより樓主櫻井丈太郎は此の不景氣に逃走せられてたまるものかと南部署に搜査願を提出せしも警察にては金錢貸借の爲め身柄を搜査若しくは取押へ出來ぬ單に屆出として受理したるのみなりとか

氣の毒な魁女郎

▽水害に祟られて住替

新町遊廓第一樓本店娼妓魁事伊藤かめは十月限り年期滿ち泥足を洗ひ歸省す可き筈にて日の經つのを樂しみ居りしに饑きの內地の水害にて兄消太郎の家族活計困難に陷りしより補助の爲め前借金二百圓にて中之新地三海樓に二十六日より住替へせりとは氣毒な事なり

●城山々麓の老樟　鹿兒島縣城山麓に鬱蒼として茂り居る圍り三丈高さ十間餘の老樟二十一日夕強風の爲めに倒れ第七高等學校造士館炊事場（六十坪）一棟を破壞し炊事夫一名即死、一名重傷を負ひ危く火を發さんとしたるを消止めたり

●家庭より學校へ

倭城臺官舍　南麓生

當地高等女學校長三浦直氏は近來內地多數の女學校中生徒の理想兎角虛榮を競ひ學生に不似合なる立派なる裝を爲すの風あり其害動もすれば淫靡に陷り易く嫌厭すべき出來事を新聞紙上に見ること少なからざるに鑑み之を未然に防ぐは先づ外觀的物品に制限を加ふるに若かずとなし其衣服首飾の如きは專ら質素にすべき旨常に生徒に訓戒せらるゝは實に結構のことなれども凡そ物事餘りに熱心の程度を過るときは知らず識らずの中に常軌を逸し人の迷惑を顧みざること往々にして之あり此頃同校長俄かに生徒衣服の袖の長きを氣にし受持敎員をして一々生徒の袖丈の寸法を取らせ一尺八寸迄を極度とし若し一分にても之より長きものあるときは至急に改造すべく命じ候由抑も十六七歲以下の女子の袖丈は大人に比すれば長く又性來脊丈の高きものは低きものより幾分長く仕立て全體の釣合を取り着用するは普通一般の風俗にして別段に派手を競ふと云ふべきものにあらず猶は子供の衣服は大人に比すれば啻に袖丈の長きのみならず模樣縞柄色合等一般に目立ちたるものを用ゐると同樣の理にして誰一人怪むものなく又斯く爲したりとて風俗上啻に不都合なきのみならず寧ろ相當のこととなるべし夏の單物なれば暫く同校長の御注意通り改造するにしても雜作なきことなれども之より着用すべき袷綿入の如き從來のものを改造せねばならぬとありては家庭の迷惑一通りにあらず且卒業間際の生徒の如きは之を縫詰め卒業の上再び之を以前の長さに縫直す等の手數を要するのみならず縫目に新舊色合の境界を存し見苦しくなるの不都合を免れず爲めに生徒家庭に於ける苦情は皆耳にする處なり此れ畢竟するに生徒被服の定めなきが爲めなれば寧ろ此際東京實踐女學校の如き一定の生徒服を定め之を不斷着の上に着用せしむることゝせば學校にても御世話が燒けず一般家庭に於ても如何斗便利を感ずるや知るべからず校長貴下願くば御熟考ありたし一般家庭を代表して云爾

●仁川雜事

仁川寺町松山樓の藝妓扇介事大崎せんは廿六日午後六時頃宮町のカル、ス湯に入浴に行き金一圓と營業鑑札入れの財布を置き忘れ歸宅し九時頃に至り氣が付き取りに行きたるも此の時後く最早何れへか紛失し居るに付屆け出たり▲仁川濟州島居住愼龍九（三〇）は當時仁川港碇留の和船々頭坂本龜太郎に一箇月六圓五十錢の給料にて雇はれ稼ぎ居たるに一昨日半箇月分の給料を請求せしに龜太郎は事を左右して支拂ざるにより訴出でたるに付き龜太郎に對し一應說諭を加へ即時に五十錢を支拂ひ殘は十月五日迄に支拂ふことにて落着▲敷島遊客は三十五人にして百十五圓三十五錢の費消金

日ごと耳

▲歌舞伎座　春水一座廿七日の代狂言は前「深山の美人」二番目「喜劇一心太助」にして重なる役割左の如し

人形百合子、若者（花浦）車夫芳松、若者（錦）人形口上使、一心太助（堀越）今野女中すゞめ、人形源義經（本田）人形京人形、番頭佐平（大山）道尾通（河野）小間物屋廣助（谷）奥仙登之助丁稚長松（高坂）古着屋太平　孝太郎（月野）刑事山田、手代芳之助（上田）醉漢高潮、人形高濱勇、娘れ花（藤本）人形車夫、若者（見玉）輕井口雄、若もの（五味）奥山綾瀨、若もの（小納）今野夫人巻（小西）母親與羽（淺井）今野小才次（青山）番頭久七、若もの太郎（東）女中たうめ、八公（佐藤）人形文覺上人、伊勢屋淸兵衛（里宮）左甚五郎若者（雪森）モグリの鶴（一三）

▲浪花館　好評を博せし金馬一座も愈々二十七日を以て打揚げたるが次回は浪花節界の麒麟兒にして曾つて當地歌舞伎座に出演大喝采を博したる桃中軒如雲一行を以て廿九日より向一週間の豫定にて花々しく開演する都合なり因に木戸場代共大勉强の二十錢均一となす由なりと聞く

▲龍山座　浪花館を打揚げたる金馬一行は二十八日より五日間龍山座に於て木戸場代共二十錢均一とし相變りましてペチヤ〳〵と罪のない所をれ聞きに入るゝ由初日番組左の如し

一ト目上り手踊り（金平）指寫し槍獅子の舞（金遊齋）常盤津弁に浮世ぶし（小つま）賣り聲丼に音曲（市馬）りん廻しポンチの立物（金勝）音曲手踊り五本扇松づくし（金登喜）人情噺し三社祭り浮名の仇討（花圓遊）曲藝一トツマリ（龜次郎）尺八の曲松竹梅丼に義太夫（花堂）落語子寶（金馬）大切新作喜劇時計の分銅

▲代診に雇はれたし　地方にても差し支へず委細は面談一報次第參上すべし●姓名在社

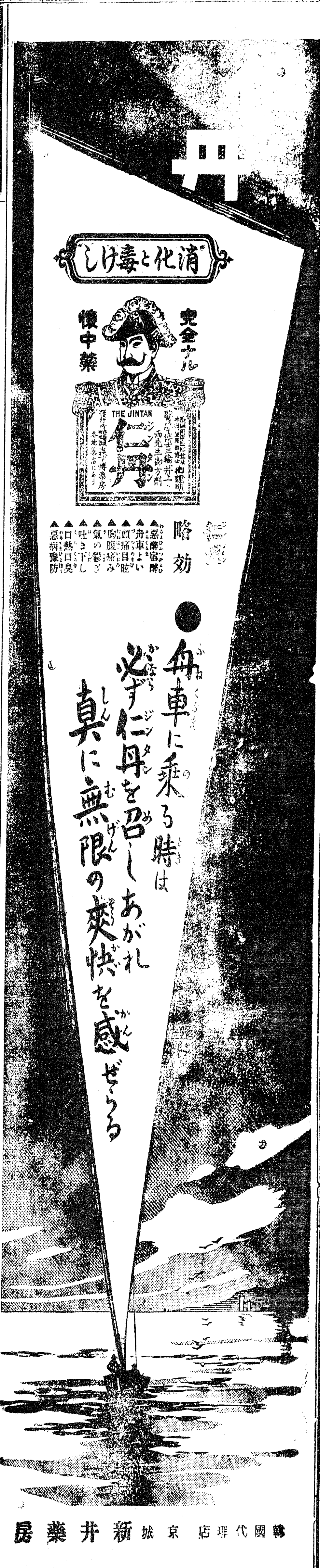
今日の運勢

九月廿八日（舊八月廿四日）●一白●先勝丙申閉△一白 取引取組相談依囑婚談に忌む旅行轉住見合せの事△二黑 不如意の事多し談判示談婚談大なる取引賣買に忌む新事旅行見合せの事△三碧 便宜援助を得る事あり起業開店及婚談を約するに尤も妙△四綠 起業開店入學門婚談謀議相談仲裁に吉但し不意の散財事ありとす△五黃 旅行運送上注意すべし盜失遺失防ぐべし新事見合せの事△六白 好都合の日なり便宜利益を得賣買取引進んで吉△七赤 子孫使用人の事に注意すべし其他大体吉△八白 塞塞の日示談中裁相談談合に忌む尙盜遺失注意の事△九紫 新事旅行見合せの事相談會見下調視察及び農林業に吉（三一館）

●天氣豫報（自廿七日午後六時至廿八日午後六時）

北東風晴後曇

廿六日（華氏）最高溫度 六八、九　最低溫度 五〇、七



英國 ニュージーランド保険株式會社

●設立西暦千八百五十九年（我：安政六年）
●資本金千五百万圓
●準備積立金四百四十五萬圓

火災部代理店
京城 藤原商店京城支店
京城永樂町二丁目（電話一八九番）

謹告

時下秋冷の候各位益々御清祥奉大賀候扨て生等角商會朝鮮支店在勤中は一方ならぬ御引立を蒙り難有奉深謝候然るに今度舊主商會支店閉鎖勿論生等も全部大阪本店へ歸任致すに都合さ相成居り候處未だ各位の御愛顧に報いる期も得ず今更退去する甚だ心外の至りに堪へず依て合意の上退居左記の場所に開業仕り殊更一層業務勉勵可仕候間舊倍の御引立あらん事此段略儀ながら紙上を以て御願ひ申上候頓首

京城長谷川町一丁目四十九番地
福岡自轉車店
電話八七番

明治四十三年九月二十五日

福岡彦一
比田信鐵

醇良清酒



京城明治町
大塚京城支店
（電話四百一番）

●當温泉は豊前別府温泉の湯の花にして世上の悉知せらるゝ如く効能著大なり
●當温泉場二階には圍碁將棊蓄音器等の設備有之候
●御手輕御料理御晝食すき燒、蒸物一切
朝五時より晩十二時まで
御好に應じ申候
京城本町七丁目
別府温泉

諸建築請負業
ペンキ塗
永樂町二丁目
渡部正美
（電話一〇二八番）

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話五百二番

開店廣告



當商會はアポストル、フレッシャーシ、チャスタース金口莨及葉巻各種其の他洋酒類御小賣共破格の勉强可仕候間御遊歩旁々御來車の榮を給はり度此段謹告候也
（地方より御注文は何程に不拘御注文次第代金引替小包郵便にて御發送可申候）

アポストル會社代理店
フレッシャーシ會社代理店
チャスタース會社代理店

京城本町五丁目
土耳其エジプト煙草商會
ランブリーニテス

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舗
電話九三番

諸官衙御用達
奥野岩太郎

御待合
南大門通三丁目光宣門側
紅葉
電話一三八二番

義齒術全般
京城永樂町一丁目
永田正二
電話一四三二番

明法學士
仁川仲町三ノ八（タウセンド筋向）（電話七〇二番）
京城裁判所西隣
北島靜法律事務所

▲下痢に苦しむ人
▲悪疫を恐れる人
▲此時理想の腸胃薬
ヘルプを活用せよ

初秋は猛夏の餘波を受けて一般腸胃に故障多く悪疫の跋扈せんとする時なれば、何人もヘルプの活用を怠るなかれ、理想の腸胃薬ヘルプは、下痢症に偉大の効力を有するのみならず、寢冷、腹痛、食傷、吐瀉等腸胃の障害一切を驅除すれば

悪疫を絶對に防止す



◎痢病◎腸加答兒◎時候あたり◎水あたり◎寢冷◎腹痛◎食傷◎吐瀉等一切の下痢を止め腸胃を整へ悪疫を未發に防ぐ

●赤痢、窒扶斯、虎列剌等の流行は多く下痢の放置や腸胃の養生を怠るに起因す
故に腸胃弱き人は勿論、何人も、昨今の季節には朝夕二錠宛のヘルプを用ひよ…腸胃健全に悪疫を防止す

代理店
京城南大門通三丁目
振替口座韓國十六番
新井薬房

胃腸新薬
タカヂアスターゼ
發賣元 東京 三共合資會社
韓國總代理店 仁川 竹田津三平

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番